



実習生の通学路にある無料の地下水給水施設。冷たくて美味しい水がただで飲める！と口コミで広がり、実習生のこの夏の人気スポットになっています。

あじけん通信

2015 AUGUST
VOL.92

株式会社きぼう国際外語学院

企画・編集 澁谷 健司

8月に入り全国的な猛暑が続いています。今年は、特に暑さが厳しく、当センターでも36度を越える暑さの日が何日かありました。暑さには慣れっこのはずの東南アジアからの実習生の皆さんの口からも、「あついです・・・。」との声が上がっています。それでも、一度教室に入れば、そこはエアコンがきいた快適空間。実習生の皆さんは、実は暑さ知らずの環境で、日本語学習に励むことが出来ています。しかし、本校での講習期間が終わると、炎天下の建設現場や、エアコンのない倉庫の中等で、実習に取り組まなければならない実習生の皆さんも少なくありません。そんな実習生の皆さんが、講習期間中に万全の体調をキープし、技能実習生活をスタート出来るように、日本語指導はもちろんのこと、健康管理にも細心の注意を払って、この猛暑の8月を無事に乗り越えられるようにサポートをしていきたいと考えております。

あじけんスコープ Vol.34

～あじけん講師ファイル～

はじめまして。大内秀夫（おおうちひでお）と申します。きぼう国際外語学院で日本語指導に携わり、あっという間に、半年が過ぎようとしています。実習生の皆さんは、家族と離れて、初めて日本へ来て、本当に大変な中、日本語学習に励んでおり、毎日苦労している事と思います。でも、日本で見た事、聞いた事、色々な物事に興味を持ち、日々吸収しながら、成長してゆく姿は頼もしく、そんな実習生の皆さんのお手伝いが、少しでもできるように、先輩の先生方の意見を参考にしながら、分かりやすい学習方法や楽しく学べる方法を模索しながら、日本語指導に取り組んでいます。また、実習先企業での「生きた日本語」が理解出来る実践的な日本語力を身に付けてもらえるように、頑張りたいと考えています。私は、これまで専門学校で情報処理（コンピュータのプログラミング）を教えていたので、先輩の先生方に比べると、異色かもしれませんが、本校では、工業系の企業で実習する実習生も多くいるので、今までの経験を活かして、日本語指導に取り組んでいきたいと思っています。どうぞよろしくお願ひします。



大内 秀夫（おおうち ひでお）先生

今月の実習生



今月の実習生は、タイ人実習生、右から Wasana Mahayot（オイ）さん・Waradchaya Dechalert（フェア）さん・Sirijanya Seethasroy（ブム）さんを紹介いたします。左の写真は、日本の文化を少しでも体験してもらおうと、クラス担任講師の計らいで実現した浴衣体験授業での1コマです。初めて着る日本の浴衣に3人とも大はしゃぎ！

「私たちの夢は、日本で富士山を見ること、着物を着ることでした。先生は、これは、きもものではありません。ゆかたです。といましたが、ゆかたもとてもきれいで、かわいくて、ほんとうにうれしいです。」

あじけん流日本語授業

～テストがリニューアルされました～



本校で実施しているレベルチェックテスト・中間テスト・修了テストの出題内容・出題レベルが、この度改訂されました。改訂の主な目的は、1、授業での学習内容・指導内容と、テストの出題内容を一層相関性の高いものにして、指導と評価の一体化を図っていくため。2、問題・解答用紙をより見やすく、書きやすいものにし、実習生の皆さんの本校での日本語学習の成果をより正確に測定していくため。3、特にリスニング問題の内容を、実際の日本語使用場面に近づけて、より正確な聴解力の定着を測定するため。の3点です。7月からスタートしたクラスから順次、新テストが実施されていますので、新テストでの日本語力の評価が始まり、約1ヶ月が経とうとしています。まだ、十分なデータが集まっていないので、旧テストとの正確な難易度の比較などは、出来ないのが現状ですが、レベルチェックテスト・中間テスト・修了テストともに、難易度が多少高めになっています。特に、リスニングテストは、実習先での使用場面をこれまで以上に意識して作成したので、難易度が上がっており、実習生の皆さんの得点も、以前よりも低くなっている傾向が見えてきています。

また、旧テスト同様、中間テスト（講習前半で学習する基礎基本的な出題中心）に比べて、修了テストは出題範囲が広く、出題内容（難易度の高い文型や表現・漢字表記の危険用語に関する出題・表現力等の応用力を問う出題）が難しくなっているので、得点も低くなる傾向が見られます。この点に関しましても、受入れ団体の方々のご理解をいただければと思います。新しいテストに関しまして、ご不明な点等がございましたら、ご意見・ご質問して頂ければ幸いです。今後とも、本校での日本語教育に対するご理解・ご協力、どうぞよろしくお願いいたします。



講習会で新テストの内容を検討する講師陣



完成した新テストとリスニングCD

※ 当校ホームページ <http://www.ajiken.jp/> から「あじけん通信」バックナンバーもご覧になれます